

「1950年代教育史」研究部会（第43回）

日時：2020年2月21日（金）13:00～15:00

場所：野間教育研究所 2F 閲覧室

出席：米田俊彦・大島宏・須田将司・鳥居和代・西山伸 各兼任研究員
吉久知延所長・金沢千秋・川上智子

内容：（1）西山伸研究員報告：紀要原稿「1950年代前半における大学管理問題－国立大学管理法案を中心に－」

◆紀要原稿の担当章の「はじめに」部分の検討

- ・大学の管理問題を取り上げた先行研究について
- ・今回の新たな観点について
- ・章構成について
- ・今後：個別大学の例が1校なので、別の大学を検討中（資料の揃っている大学があるか？）

（2）米田俊彦研究員報告：紀要原稿の担当章「第3節 第一次勤評「神奈川方式」の合意破棄（1959年9月）まで」

◆紀要原稿の担当章の「第3節」の検討

- ・合意された第一次「神奈川方式」が破棄された経緯
- ・教育委員の辞職

◆紀要序章について

- ・1950年代教育史の意義：過渡期（急激に変化した10年間）を一つの時期として捉える
- ・先行研究：教育史に限定しない。当時の政治・社会情勢など全体的にみるべき
 - *特に教育委員会の政治的性格変更に触れる
 - 例）1952年神奈川県教育委員選挙

- ・次回研究会は、2020年3月30日（月）13:00～。須田研究員、大島研究員
- ・次々回 2020年4月24日（金）13:00～。